

# 六日町史

資料編 第一卷  
先史・古代・中世

# 目次

口絵

発刊のことば

南魚沼市長

井口一郎

はじめに

郷土史編さん委員長

今成卓而

凡例

## 先史・古代編

### 遺跡所在位置図

## 第一章 旧石器時代

|   |        |         |    |
|---|--------|---------|----|
| 1 | 上ノ台Ⅰ遺跡 | 小栗山字上ノ台 | 4  |
| 2 | 上ノ台Ⅱ遺跡 | 小栗山字上ノ台 | 5  |
| 3 | 金屋遺跡   | 余川字金屋道上 | 11 |
|   |        |         | 14 |

## 第二章 縄文時代

|    |        |         |     |
|----|--------|---------|-----|
| 1  | 宮下原遺跡  | 宮村下新田字原 | 16  |
| 2  | 上ノ台Ⅱ遺跡 | 小栗山字上ノ台 | 17  |
| 3  | 上ノ台Ⅲ遺跡 | 小栗山字上ノ台 | 32  |
| 4  | 入山遺跡   | 小栗山字入山  | 74  |
| 5  | 原ノ台遺跡  | 原字台     | 78  |
| 6  | 中手原A遺跡 | 山口字八海山  | 85  |
| 7  | 中手原B遺跡 | 山口字八海山  | 92  |
| 8  | 横山遺跡   | 寺尾字林京   | 94  |
| 9  | 蟻子山A遺跡 | 余川字蟻子山  | 96  |
| 10 | 蟻子山B遺跡 | 余川字蟻子山  | 99  |
| 11 | 蟻子山C遺跡 | 余川字蟻子山  | 103 |
| 12 | 蟻子山D遺跡 | 欠之上字蟻子山 | 107 |
|    |        | 君帰字向山   | 113 |

|                  |         |          |     |
|------------------|---------|----------|-----|
| 13               | 蟻子山E遺跡  | 君帰字向山    | 115 |
| 14               | 金屋遺跡    | 余川字金屋道上  | 117 |
| 15               | 薬師上ノ原遺跡 | 中川字薬師上原  | 127 |
| 16               | 野世ヶ原遺跡  | 余川字野世ヶ原  | 131 |
| 17               | 野世ヶ原Ⅱ遺跡 | 君帰字野世ヶ原  | 137 |
| 18               | 岩崎遺跡    | 岩崎字稲場    | 142 |
| 19               | 飯綱山Ⅰ遺跡  | 余川字飯綱山   | 149 |
| 20               | 舞台遺跡    | 下薬師堂字舞台  | 160 |
| 21               | 八幡遺跡    | 下薬師堂字八幡  | 166 |
| 22               | 上出遺跡    | 法音寺字上出   | 169 |
| 23               | 大道端遺跡   | 長森新田字大道端 | 171 |
| 24               | 長表遺跡    | 小栗山字長表   | 179 |
| 25               | 上平遺跡    | 土沢字上平    | 182 |
| 第三章 弥生時代……………184 |         |          |     |
| 1                | 長表遺跡    | 小栗山字長表   | 186 |
| 2                | 飯綱山遺跡   | 余川字飯綱山   | 192 |
| 3                | 北沖遺跡    | 小栗山字北沖   | 196 |

第四章 古墳時代

|        |        |        |         |        |        |         |         |         |         |         |         |         |          |  |         |         |        |
|--------|--------|--------|---------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|--|---------|---------|--------|
| 13     | 12     | 11     | 10      | 9      | 8      | 7       | 6       | 5       | 4       | 3       | 2       | 1       | 第四章 古墳時代 |  | 6       | 5       | 4      |
| 大清水遺跡  | 北沖東遺跡  | 長表東遺跡  | 金屋遺跡    | 余川中道遺跡 | 蟻子山古墳群 | 飯綱山65号墳 | 飯綱山38号墳 | 飯綱山36号墳 | 飯綱山35号墳 | 飯綱山31号墳 | 飯綱山27号墳 | 飯綱山10号墳 |          |  | 野世ヶ原遺跡  | 金屋遺跡    | 長表東遺跡  |
| 余川字坂之上 | 小栗山字北沖 | 小栗山字長表 | 余川字金屋道上 | 余川字中道  | 余川字蟻子山 | 余川字飯綱山  | 余川字飯綱山  | 余川字飯綱山  | 余川字飯綱山  | 余川字飯綱山  | 余川字飯綱山  | 余川字飯綱山  |          |  | 余川字野世ヶ原 | 余川字金屋道上 | 小栗山字長表 |
| 340    | 331    | 327    | 312     | 298    | 283    | 272     | 267     | 265     | 254     | 246     | 231     | 215     | 212      |  | 208     | 202     | 198    |

## 第一章 編年史料……………441

## 中世編

先史・古代編 写真・図版の引用一覧……………427

10 天神南遺跡……………425

9 七ツ塚遺跡……………423

8 天池遺跡……………421

7 林京遺跡……………419

6 朴ノ木遺跡……………417

5 堅木遺跡……………412

4 北沖東遺跡……………408

3 金屋遺跡……………381

2 長表遺跡……………369

1 坂之上遺跡……………356

第五章 古代……………354

14 坂之上遺跡……………346

余川字坂之上……………346

第一節 平安時代……………441

【延長五年】（九二七）

十二月二十六日、「延喜式」が完成する。その中に、

越後国魚沼郡や、郡内の神社のことがみえる。

1 「延喜式」（神道大系）二十二 民部省上……………442

2 「延喜式」（神道大系）十 神祇十 神名下……………442

3 「越後野志」巻九 神社……………443

【承平年間】（九三二～九三八）

この頃、源順が「和名類聚抄」を撰述する。その中に、

魚沼郡や郡内の郷のことがみえる。

4 「和名類聚抄」巻五 国郡部……………444

5 「和名類聚抄」巻七 郷里部二……………445

6 「和名類聚抄」巻七 郷里部……………445

7 「和名類聚抄」巻六 国郡部……………446

8 「色葉字類抄」（二巻本）……………446

9 「色葉字類抄」（三巻本）……………446

10 「伊呂波字類抄」（十巻本）……………446

11 「拾芥抄」本朝国郡部……………446



|    |                                                                                 |     |
|----|---------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 12 | 〔節用集〕(易林本) 下……………                                                               | 446 |
| 13 | 〔新撰類聚往来〕(慶安元年刊本) 下……………                                                         | 446 |
|    | 【保元二年】(一一五七)                                                                    |     |
|    | 三月二十九日、朝廷、平正弘の所領越後国魚野郡殖田村を没収し、後院の所領とする。                                         |     |
| 14 | 〔兵範記〕保元二年三月二十九日条……………                                                           | 447 |
|    | 【長寛三年・永万元年】(一一六五)                                                               |     |
|    | 六月二十四日、余川の薬師堂経塚出土の経石の墨書が書かれる。                                                   |     |
| 15 | 〔経石銘〕……………                                                                      | 448 |
|    | 【治承五年・養和元年】(一一八一)                                                               |     |
|    | 六月、越後の城資職、兵を率いて信濃に入り、横田河原で源義仲らと戦い敗れる。津張庄司大夫宗親、越後軍の一団を率いて、殖田越から信濃に向かうという。        |     |
| 16 | 〔玉葉〕治承五年七月一日条……………                                                              | 448 |
| 17 | 〔延慶本平家物語〕第三本 城四郎与木曾合戦事……………                                                     | 448 |
| 18 | 〔長門本平家物語〕十三 横田河原合戦事……………                                                        | 450 |
|    | 第二節 鎌倉・室町時代……………                                                                | 452 |
|    | 【文治二年】(一一八六)                                                                    |     |
|    | 二月、朝廷、関東知行国内の年貢未済の荘園の注文を鎌倉に送り、年貢の催促をするよう源頼朝に命じる。この注文に、後白河上皇の所領の越後国於田庄(上田庄)がみえる。 |     |
| 19 | 〔吾妻鏡〕(新訂増補国史大系) 文治二年三月十二日条……………                                                 | 453 |
|    | 【文治五年】(一一八九)                                                                    |     |
|    | 九月、源頼朝、奥州合戦の戦功の賞として、河原田盛光・山内季基に魚沼郡内の所領を与える。                                     |     |
| 20 | 〔異本塔寺長帳〕一……………                                                                  | 453 |
| 21 | 〔山内首藤系図〕……………                                                                   | 454 |
|    | 【承久二年】(一二二〇)                                                                    |     |
|    | 五月十八日、君帰観音堂所在の観音像が造立される。                                                        |     |
| 22 | 〔観音菩薩像背面墨書銘〕……………                                                               | 454 |
|    | 【承久三年】(一二二一)                                                                    |     |
|    | 十月三日、平繁基、道乗房弁覺を、浦佐村天王堂の寺                                                        |     |

- 務職に補任する。
- 23 〔普光寺文書〕平繁基下文……………454
- 【正応年間】（一二八九—一二九三）  
三月十一日、寺尾の観音堂所在の観音菩薩像が製作される。
- 24 〔観音菩薩像背面墨書銘〕……………455  
十月九日、小笠原某、助房を、浦佐村内天王堂の院主職に補任する。
- 25 〔普光寺文書〕小笠原某充行状……………455  
【正慶二年・元弘三年】（一二三三）  
五月、新田義貞、上野国で挙兵する。このときの軍議で、越後国の津張郡に赴いて上田山を伐り塞ぐという提案が出されたという。
- 26 〔太平記〕卷十 新田義貞謀叛事付天狗催越後勢事……………456  
この年、河野通貞、足利尊氏に従い、上田庄小栗山郷を与えられるという。
- 27 〔予章記〕（群書類従）……………457
- 【建武二年】（一二三五）  
七月二十日、足利尊氏、葦谷義顕に、越後国上田庄内秋丸村を勲功の賞として充行う。
- 28 〔思文閣古書資料目録〕第二百三十三号 善本特集 足利尊氏下文……………457  
十二月十八日、源某、千屋郡内田崎村の百姓等の家々への軍勢の乱入狼藉を禁止する。
- 29 〔佐藤文書〕源某書下……………457  
【暦応四年】（一二四一）  
五月十七日、上杉憲顕、越後国の南朝方と関で戦う。  
小林重政、憲顕に従い戦功を挙げる。
- 30 〔小林家文書〕小林重政着到状……………458  
【康永三年】（一二四四）  
十月二十日、足利直義、上田庄内關所未給分を、越後国守護領不足分として、上杉憲顕に充行う。
- 31 〔上杉家文書〕足利直義御教書……………458  
【康永四年】（一二四五）  
七月十三日、平能家、諏訪社の頭役銭（舞子・三郎丸・

源五名の分)を送進する。

32 〔山崎文書〕平能家頭役銭送状……………458

【文和四年】(一二三五)

七月三日、藤原頼文、阿闍梨祐安を、浦佐天王堂院主職に補任する。

33 〔普光寺文書〕藤原頼文安堵状……………459

【康安元年】(一二六一)

十月二日、將軍足利義詮、上杉憲顕に、上田庄を充行う。その後、下文が紛失し、將軍足利義満、上杉憲方(憲顕の子)に安堵状を出す。

34 〔上杉家文書〕足利義満御教書……………459

【貞治三年】(一二六四)

十一月、石河妙円・光親、上杉憲顕に従い、上田城で忠勤したことなどを、軍忠状にまとめて、憲顕に申告する。

35 〔諸州古文書〕二十五 石川妙円兄弟軍忠状……………460

【貞治五年】(一二六六)

六月、永昌庵所蔵の鰐口が製作される。

36 〔鰐口銘〕……………460

【永和四年】(一二七八)

八月一日、国上寺の金蔵月山、浦佐毘沙門天王に銭と米を寄進する。

37 〔普光寺文書〕国上寺金蔵月山寄進状……………460

【永徳二年】(一二八二)

十一月十三日、藤原清信ら、浦佐保南方内の田を、天王堂の造営のために寄進する。

38 〔普光寺文書〕藤原清信等連署寄進状……………461

十二月二十六日、將軍足利義満、上杉憲方に、上田庄三分一・千屋郡国衙職を安堵する。ついで憲方、安堵状を紛失し、義満、あらためて安堵状を出す。

39 〔上杉家文書〕足利義満御教書……………461

【明徳三年】(一二九二)

十二月二十五日、上田大太郎丸の住人秀尊ら、紀伊の熊野三山に参詣する。

40 〔熊野本宮大社文書〕越後国檀那願文写……………462

【応永二年】(一二九五)

- 七月二十四日、前將軍足利義滿、上田庄内闕所分、上田庄内三分一を、上杉憲定に安堵する。ついで管領斯波義將、越後守護上杉房方に、所領の沙汰付を命じる。
- 41 〔上杉家文書〕斯波義將奉書……………463
- 【応永九年】(一四〇二)
- 四月十四日、石打大明神に奉納するための鰐口が作成される。
- 42 〔鰐口銘〕……………463
- 【応永十一年】(一四〇四)
- 二月二十二日、長尾景実、千屋郡浦佐保普光寺に、蒲沢・扶原の田を寄進する。
- 43 〔普光寺文書〕長尾景実寄進状……………463
- 【応永十九年】(一四一二)
- 十一月、朝尊、源海に秘法を伝授する。
- 44 〔宝珠院文書〕朝尊附法状……………464
- 【応永二十七年】(一四二〇)
- この年、顕窓慶字、上田の雲洞庵を再興し、住持となる。
- 45 〔日本洞上聯燈録〕(大日本仏教全書) 卷五……………464
- 46 〔日本洞上聯燈録〕(大日本仏教全書) 卷六……………466
- 47 〔続日域洞上諸祖伝〕(大日本仏教全書) 卷二……………466
- 【応永三十年】(一四二三)
- 十一月十六日、鎌倉公方足利持氏、下野の長沼憲秀に、上杉憲実の代官に合力して、越後上田庄で忠節を尽くすよう求める。
- 48 〔皆川文書〕足利持氏御教書……………467
- 【応永三十四年】(一四二七)
- 七月二日、橘貞重、六角堂に鰐口を寄進する。
- 49 〔鰐口銘〕……………467
- 【文安元年】(一四四四)
- 三月二十七日、諏訪神主の役頭日記が作成される。
- 50 〔佐藤文書〕諏訪神主役頭日記……………467
- 六月一日、雲洞庵の年貢帳が作成される。
- 51 〔雲洞庵文書〕雲洞庵年貢帳……………468
- 52 〔雲洞庵文書〕雲洞庵年貢帳……………468
- 八月、上杉憲実、上田庄を次男龍春に譲る。



|    |                                                                                                 |     |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 53 | 〔上杉家文書〕 上杉憲実讓狀……………                                                                             | 469 |
| 54 | 〔上杉家文書〕 上杉氏越後国知行分文書目錄……………                                                                      | 469 |
|    | 【文安五年】（一四四八）                                                                                    |     |
|    | 二月二十三日、寺尾の住僧文永・了尊、仏像の製作にかかわる。                                                                   |     |
| 55 | 〔仏像背板墨書銘〕……………                                                                                  | 470 |
|    | 【享徳四年・康正元年】（一四五五）                                                                               |     |
|    | 二月十二日、幕府の管領細川勝元、上田庄の若宮社領所々を、元のように安堵することを、上杉房顕に伝える。                                              |     |
| 56 | 〔上杉家文書〕 細川勝元奉書……………                                                                             | 470 |
|    | 三月二十六日、長尾房景、少輔房祐榮に、普光寺別当職を安堵する。                                                                 |     |
| 57 | 〔普光寺文書〕 長尾房景安堵状……………                                                                            | 471 |
|    | 【康正二年】（一四五六）                                                                                    |     |
|    | 二月二十六日、足利成氏方と上杉房顕方、上野深巢で戦う。長尾房景、上杉方の一員として戦いに加わる。                                                |     |
| 58 | 〔赤堀文書〕 赤堀政綱軍忠状……………                                                                             | 471 |
|    | 【長祿三年】（一四五九）                                                                                    |     |
|    | 三月十五日、熊野乗々院大僧都、上野国国府大藏坊の宰相律師に、上田庄の長尾房景方の人々の熊野参詣にかかわる先達職を安堵する。                                   |     |
| 59 | 〔内山文書〕 快増・重継連署奉書……………                                                                           | 472 |
|    | 十月、長尾房景、越後守護上杉房定に従い、上野国海老瀬口・羽継原で戦功をあげる。また、尻高新三郎の父、羽継原の戦いで討死する。翌長祿四年四月二十八日、將軍足利義政、房景・新三郎の戦功を賞する。 |     |
| 60 | 〔御内書案〕（統群書類従）足利義政感状写……………                                                                       | 472 |
| 61 | 〔御内書案〕（統群書類従）足利義政感状写……………                                                                       | 472 |
|    | 【寛正二年】（一四六一）                                                                                    |     |
|    | 十一月、長尾房景、普光寺に制札を与え、諸人が山の本を伐ることを禁止する。                                                            |     |
| 62 | 〔普光寺文書〕 長尾房景制札……………                                                                             | 473 |
|    | 【寛正四年】（一四六三）                                                                                    |     |
|    | 八月二十二日、尻高亀鬼丸、養父新三郎の菩提のため、長慶庵を建立し、上田庄早河郷内の地を寄進する。                                                |     |

|                     |                                                 |     |
|---------------------|-------------------------------------------------|-----|
| 63                  | 〔龍泉院文書〕 尻高龜鬼丸寄進狀……………                           | 473 |
| 64                  | 〔龍泉院文書〕 長慶庵猷映書狀……………                            | 473 |
| 〔寛正六年〕 (一四六五)       |                                                 |     |
| 十二月、                | 北野社松梅院の禅豫、杜領の注文を作成する。<br>その中に、当知行分として上田庄関郷がみえる。 |     |
| 65                  | 〔北野社家記録〕 長享元年十一月条……………                          | 474 |
| 〔文明五年〕 (一四七三)       |                                                 |     |
| 十月七日、               | 長尾房景、普光寺に証状を出し、寺中の法<br>度を守るよう命じる。               |     |
| 66                  | 〔普光寺文書〕 長尾房景証状……………                             | 475 |
| 〔文明七年〕 (一四七五)       |                                                 |     |
| 六月十八日、              | 長尾房景、慈清祐円に、浦佐多門堂普光<br>寺の別当職を安堵する。               |     |
| 67                  | 〔普光寺文書〕 長尾房景安堵狀……………                            | 475 |
| 68                  | 〔老葉〕 (吉川本)……………                                 | 475 |
| 69                  | 〔老葉〕 (毛利本)……………                                 | 476 |
| 70                  | 〔老葉集〕 (宗訊筆本)……………                               | 476 |
| 〔文明十七年〕 (一四八五)      |                                                 |     |
| 二月九日、               | 長慶庵の年貢取帳が作成される。                                 |     |
| 71                  | 〔龍泉院文書〕 長慶庵年貢取帳……………                            | 476 |
| 〔文明十八年〕 (一四八六)      |                                                 |     |
| 九月頃、                | 京都常光院の堯恵、越後から上野に進み、三<br>国峠を通る。                  |     |
| 72                  | 〔北国紀行〕 (群書類従)……………                              | 477 |
| 〔文明十九年・長享元年〕 (一四八七) |                                                 |     |
| 二月二十八日、             | 長尾清景、普光寺に制札を出し、諸人<br>が山の木を伐ることを禁止する。            |     |
| 73                  | 〔普光寺文書〕 某清景制札……………                              | 478 |
| 十一月、                | 京都常光院の堯恵、上野から越後に進み、三<br>国峠を越えて石白に到る。            |     |
| 74                  | 〔北国紀行〕 (群書類従)……………                              | 478 |
| 〔長享二年〕 (一四八八)       |                                                 |     |
| 三月二十六日、             | 発智景儀、石白に赴いて上杉定昌に殉<br>ずることを決意し、発智六郎右衛門に遺書を書く。    |     |
| 75                  | 〔発智文書〕 発智景儀書狀……………                              | 479 |
| 十月二日、               | 万里集九、上野より三国峠を越えて越後に                             |     |

入る。ついで石白の泉福寺、木録の安樂寺、上田の大義寺などに赴く。

76 〔梅花無尽蔵〕（五山文学新集）三上……………479

77 〔梅花無尽蔵〕（五山文学新集）四……………480

十一月二十三日、関東管領上杉顕定、越後の中条定資に武蔵への出陣を依頼し、尻高景清、使者をつとめる。

78 〔東京大学史料編纂所所蔵中条氏文書〕上杉顕定書状……………480

79 〔雲洞庵文書〕上杉顕定書状写……………481

【長享三年・延徳元年】（一四八九）

一月十七日、北野社松梅院の禅豫、上田庄関郷の去々年の年貢を納めるよう判門田に命じる。

80 〔北野社家日記〕長享三年正月条……………481

【延徳三年】（一四九一）

五月三日、北野社松梅院の禅豫、社領の注文を幕府に提出し、安堵の下知を乞う。その中に上田関郷がみえる。

81 〔北野社家日記〕延徳三年五月条……………481

82 〔北野神社文書〕北野社領目録……………482

五月六日、幕府、越後守護上杉房定に、北野社領上田関郷を北野社松梅院の代官に沙汰付けるよう命じる。

83 〔北野社家日記〕延徳三年七月条……………484

84 〔北野神社文書〕長尾顕吉書状……………485

85 〔北野神社文書〕長尾顕吉書状……………485

六月十六日、長尾顕吉、某に千屋郡浦佐多門堂普光寺別当職を安堵する。

86 〔普光寺文書〕長尾顕吉安堵状……………485

【明応二年】（一四九三）

九月二十五日、幕府、越後守護上杉房定に、上田関郷の年貢のことにつき命を下す。

87 〔北野社家日記〕明応二年九月条……………486

88 〔北野社家日記〕明応二年九月条……………486

89 〔北野社家日記〕明応二年九月条……………486

90 〔法音寺文書〕上杉房定判物……………486

91 〔新潟県立歴史博物館所蔵発智氏文書〕上杉房定書状……………487

|              |                                                                                       |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 92           | 〔米沢市上杉博物館所蔵楡井家文書〕 上杉房定書<br>状……………487                                                  |
| 【明応四年】（二四九五） |                                                                                       |
|              | 五月二十八日、越後守護上杉房能、雲洞庵に免船二艘<br>を安堵する。                                                    |
| 93           | 〔雲洞庵文書〕 千坂実高等連署奉書写……………487                                                            |
| 【明応五年】（二四九六） |                                                                                       |
|              | 一月二十日、長尾顕吉、某に普光寺別当職を安堵する。                                                             |
| 94           | 〔普光寺文書〕 長尾顕吉安堵状……………487                                                               |
| 95           | 〔江口文書〕 長尾顕吉書状……………488                                                                 |
| 96           | 〔本間美術館所蔵穴沢文書〕 長尾顕吉書状……………488                                                          |
| 97           | 〔本間美術館所蔵穴沢文書〕 長尾顕吉書状……………488                                                          |
| 98           | 〔歴代古案〕 卷十一 長尾顕吉書状写……………488                                                            |
| 99           | 〔本間美術館所蔵穴沢文書〕 長尾顕景書状……………489                                                          |
| 100          | 〔本間美術館所蔵穴沢文書〕 長尾顕景書状……………489                                                          |
| 101          | 〔本間美術館所蔵穴沢文書〕 長尾顕景書状……………489                                                          |
| 102          | 〔本間美術館所蔵穴沢文書〕 長尾顕景書状……………489                                                          |
| 103          | 〔本間美術館所蔵穴沢文書〕 長尾顕景書状……………490                                                          |
| 104          | 〔本間美術館所蔵穴沢文書〕 長尾顕景書状……………490                                                          |
| 105          | 〔歴代古案〕 卷十一 上杉顯定感状写……………490                                                            |
| 106          | 〔本間美術館所蔵穴沢文書〕 上杉顯定書状……………490                                                          |
| 【明応七年】（二四九八） |                                                                                       |
|              | 七月、寺尾の観音堂所在の仏像光背の墨書が書かれる。                                                             |
| 107          | 〔仏像光背墨書銘〕……………490                                                                     |
| 【文亀二年】（二五〇二） |                                                                                       |
|              | 八月二十八日、上野板鼻庄海龍寺で上杉顯定の母の<br>十三回忌仏事が行われ、尻高景清、布施奉行をつとめ<br>る。また、上田の侍中が進上した氈が仏事で使用され<br>る。 |
| 108          | 〔談柄〕……………491                                                                          |
| 109          | 〔雲洞庵文書〕 尻高景清書状……………492                                                                |
| 【永正二年】（一五〇五） |                                                                                       |
|              | 四月七日、某、長尾小法師（房景）に書状を遣わし、<br>しやうくわん寺を返すことを約束する。その中に、し<br>やうくわん寺の住持が上田に赴いたことがみえる。       |
| 110          | 〔上杉家文書〕 某去文……………493                                                                   |



## 第三節 長尾房長の時代……………494

## 【永正六年】(一五〇九)

七月二十四日、関東管領上杉顕定、越後に出陣することと平子牛法師(房長)に伝え、上田庄に着陣するよう命じる。

111 〔武州文書〕御府内下 上杉顕定書状……………495

七月二十六日、関東管領上杉顕定、発智六郎右衛門尉に書状を遣わし、忠節を求める。その中に、尻高左京亮が発智の申し出を受理し、顕定に伝えていたことがみえる。

112 〔新潟県立歴史博物館所蔵発智氏文書〕上杉顕定書状……………495

九月十八日、関東管領上杉顕定、条村の法音寺への諸人の乱妨と諸役賦課を禁じる。

113 〔法音寺文書〕上杉顕定安堵状……………495

十月十七日、上杉憲房、長尾房長の注進を受けて、発智六郎右衛門尉の忠節を賞する。

114 〔歴代古案〕卷六 上杉憲房書状写……………496

## 【永正七年】(一五一〇)

四月十九日、上杉憲房、長尾顕景の注進を受けて、発智六郎右衛門尉の紙屋庄深沢・刈羽郡荒浜における戦功を賞する。

115 〔新潟県立歴史博物館発智氏文書〕上杉憲房感状……………496

六月二十日、関東管領上杉顕定、長森において長尾為景・高梨政盛の軍勢と戦い敗死する。

116 〔歴代古案〕卷六 上杉憲房書状写……………496

117 〔実隆公記〕卷四十二 永正七年七月……………498

118 〔歴代古案〕卷五 長尾景虎書状写……………498

119 〔本土寺過去帳〕中 廿日……………498

十一月三日、長尾長景、長尾顕景に書状を遣わし、長尾為景と自身が顕景に対して疎意のないことを伝える。

120 〔上杉家文書〕長尾長景書状……………499

## 【永正九年】(一五一二)

一月二日、長尾房長(月洲)、穴沢源左衛門尉に、長尾平六との戦いの近いことを告げ、出兵を求める。

|               |                                                                                           |     |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 121           | 〔本間美術館所蔵穴沢文書〕 長尾房長書状……………                                                                 | 499 |
| 122           | 〔本間美術館所蔵穴沢文書〕 長尾房長書状……………                                                                 | 499 |
| 123           | 〔本間美術館所蔵穴沢文書〕 長尾房長書状……………                                                                 | 500 |
| 124           | 〔本間美術館所蔵穴沢文書〕 長尾房長書状……………                                                                 | 500 |
| 125           | 〔本間美術館所蔵穴沢文書〕 長尾房長書状……………                                                                 | 500 |
| 【永正十年】（一五一一）  |                                                                                           |     |
|               | 八月五日、越後守護上杉定実、信濃衆に与同した牢人<br>たちが上田口に攻めこむことを警戒して、越後北部の<br>国人たちに出陣を要請するよう、守護代の長尾為景に<br>指示する。 |     |
| 126           | 〔読史堂古文書〕 斎藤昌信・長尾景長連署状写……………                                                               | 500 |
| 127           | 〔新潟県立歴史博物館所蔵中条氏文書〕 長尾為景<br>書状……………                                                        | 501 |
|               | 十月二十三日、長尾為景、福王寺掃部助に府内近辺の<br>情勢を伝え、上田口の守備を長尾房長の家中に指示す<br>るよう命じる。                           |     |
| 128           | 〔歴代古案〕 卷十六 長尾為景書状写……………                                                                   | 501 |
| 【永正十一年】（一五一二） |                                                                                           |     |
|               | 一月十一日、長尾為景、築地資茂に書状を遣わし、中<br>条藤資が上田に向かい進軍していることを伝える。                                       |     |
| 129           | 〔新潟県立歴史博物館所蔵築地氏文書〕 長尾為景<br>書状……………                                                        | 501 |
|               | 一月十六日、長尾為景方の長尾房景・中条藤資ら、上<br>田庄六日市で牢人衆と戦い、勝利を収める。ついで長<br>尾房長、江口与三郎の戦功を為景に注進する。             |     |
| 130           | 〔上杉家文書〕 長尾為景感状……………                                                                       | 502 |
| 131           | 〔新潟県立歴史博物館所蔵築地氏文書〕 長尾為景<br>書状……………                                                        | 502 |
| 132           | 〔新潟県立歴史博物館所蔵築地氏文書〕 長尾為景<br>書状……………                                                        | 503 |
| 133           | 〔新潟県立歴史博物館所蔵築地氏文書〕 長尾為景<br>書状……………                                                        | 503 |
| 134           | 〔江口文書〕 長尾為景書状……………                                                                        | 503 |
| 135           | 〔江口文書〕 長尾房長書状……………                                                                        | 503 |
| 136           | 〔江口文書〕 長尾為景書状……………                                                                        | 504 |
| 137           | 〔新潟県立歴史博物館所蔵発智氏文書〕 上杉憲房                                                                   |     |

|                                                     |     |                                                          |
|-----------------------------------------------------|-----|----------------------------------------------------------|
| 書状……………                                             | 504 | 十月二十四日、長尾為景、居多社・鵜川社に願文を提出し、長尾房長らの退治を祈願する。                |
| 138 〔上杉家文書〕小嶋重隆書状……………                              | 504 |                                                          |
| 139 〔佐藤文書〕長尾為景書状……………                               | 505 | 144 〔居多神社文書〕長尾為景願文……………                                  |
| 140 〔上杉家文書〕山内重俊書状……………                              | 505 | 145 〔鵜川神社文書〕長尾為景願文写……………                                 |
| 【永正十二年】(一五一一)                                       |     | 【天文四年】(一五三五)                                             |
| 八月、上田庄泉田出身の紺坂中納言阿闍梨愛嚴、十二天の画像を描き、武藏国中沢郷秋山村の宝光寺に奉納する。 |     | 一月十六日、上条定憲、穴沢新右兵衛尉の桐沢外張際の戦いにおける負傷を慰問する。                  |
| 141 〔十二天画像裏書〕……………                                  | 506 | 146 〔大石文書〕上条定憲書状……………                                    |
| 【永正十四年】(一五一一)                                       |     | 五月三日、長尾房長、円鏡に普光寺別当職を安堵する。                                |
| 九月六日、長授院妙寿、雲洞庵に免船・脇船を安堵する。                          |     | 147 〔普光寺文書〕長尾房長安堵状……………                                  |
| 142 〔雲洞庵文書〕長授院妙寿安堵状……………                            | 506 | 五月二十九日、長尾為景、福王寺彦八郎に書状を遣わし、上田衆らが上条に集結したことを伝え、河東を攻めるよう命じる。 |
| 【永正十五年】(一五一八)                                       |     | 148 〔歴代古案〕卷十六 長尾為景書状写……………                               |
| 八月二十四日、政治家、諏訪社へ田地を寄進し、年貢の上納を誓約する。                   |     | 六月二十日、長尾為景、福王寺彦八郎に、上田口からの敵の攻撃に備えて、下倉城を堅く守るよう命じる。         |
| 143 〔山崎文書〕某政治家寄進状……………                              | 507 | 149 〔歴代古案〕卷十六 長尾為景書状写……………                               |
| 【天文二年】(一五三三)                                        |     | 150 〔歴代古案〕卷十六 長尾為景書状写……………                               |

七月十七日、長尾房長、古藤清雲軒の五十沢口における戦功を賞する。

- 151 〔歴代古案〕 卷十一 長尾房長書状写……………509  
 152 〔歴代古案〕 卷十一 長尾房長書状写……………509  
 153 〔歴代古案〕 卷十一 長尾房長書状写……………509  
 154 〔歴代古案〕 卷十一 長尾房長書状写……………510  
 155 〔別本歴代古案〕 卷十五 長尾房長感状写……………510  
 七月二十五日、長尾房長、穴沢新右兵衛尉に、敵の往来を遮断するよう命じる。

- 156 〔歴代古案〕 卷十一 長尾房長書状写……………510  
 157 〔本間美術館所蔵穴沢文書〕 長尾房長書状……………510  
 158 〔本間美術館所蔵穴沢文書〕 長尾房長書状……………511  
 八月二日、長尾為景、福王寺彦八郎に、敵が河東に集まり琵琶島に進んだことを伝え、河東を放火するよう命じる。

- 159 〔歴代古案〕 卷十六 長尾為景書状写……………511  
 八月十四日、長尾房長、平子弥三郎に書状を遣わし、約束通り味方になるよう依頼する。

- 160 〔武州文書〕 御府内下 本庄房長等連署書状……………511  
 161 〔歴代古案〕 卷八 長尾房長書状写……………512  
 162 〔歴代古案〕 卷六 上条定憲書状写……………512  
 163 〔米良文書〕 長尾房長書状……………512  
 164 〔米沢市上杉博物館所蔵楡井家文書〕 長尾房長書状……………513

【天文五年】（一五三六）

九月三日、長尾為景、福王寺彦八郎の、上田の軍勢を撃退したことを賞し、下倉城を堅く守るよう命じる。

また、佐藤弥太郎の上田口での戦功を賞する。

- 165 〔歴代古案〕 卷十六 長尾為景書状写……………513  
 166 〔歴代古案〕 卷十六 長尾為景感状写……………513  
 167 〔歴代古案〕 卷十六 長尾為景感状写……………514  
 168 〔歴代古案〕 卷十六 長尾為景書状写……………514  
 169 〔歴代古案〕 卷十一 長尾為景感状写……………514  
 九月二十二日、長尾為景、福王寺彦八郎に、上田の軍勢が蔵王堂口に進んだことを伝え、妻有・河東に放火するよう命じる。



|     |                                                                                             |     |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 170 | 〔歴代古案〕 卷十六 長尾為景書状写……………                                                                     | 514 |
|     | 十一月二十一日、福王寺彦八郎、上田において内通する武士の交名を長尾為景に注進する。この日、為景、彦八郎に書状を遣わし、彼らが戦功を挙げたときには上田庄内で土地を与えることを約束する。 |     |
| 171 | 〔歴代古案〕 卷十六 長尾為景書状写……………                                                                     | 515 |
|     | 【天文六年】（一五三七）                                                                                |     |
|     | 一月十八日、上田の軍勢、大沢に攻め入り、大沢伊豆守を討ち取る。                                                             |     |
| 172 | 〔歴代古案〕 卷十六 長尾為景書状写……………                                                                     | 515 |
| 173 | 〔歴代古案〕 卷十六 長尾為景書状写……………                                                                     | 515 |
|     | 二月二十七日、長尾為景、下倉城の福王寺彦八郎の戦功を賞し、上田の状況を注進するよう求める。                                               |     |
| 174 | 〔歴代古案〕 卷十六 長尾為景書状写……………                                                                     | 516 |
| 175 | 〔歴代古案〕 卷十六 長尾為景書状写……………                                                                     | 516 |
|     | 五月七日、福王寺彦八郎ら、上田の軍勢が出陣したことを長尾為景に注進する。この日、為景、彦八郎らに書状を遣わし、下倉城を堅く守るよう命じる。                       |     |
| 176 | 〔歴代古案〕 卷十六 長尾為景書状写……………                                                                     | 516 |
| 177 | 〔歴代古案〕 卷十六 長尾為景書状写……………                                                                     | 517 |
| 178 | 〔歴代古案〕 卷十六 長尾為景書状写……………                                                                     | 517 |
| 179 | 〔歴代古案〕 卷十六 長尾為景書状写……………                                                                     | 517 |
| 180 | 〔歴代古案〕 卷十六 長尾為景書状写……………                                                                     | 517 |
|     | 【天文十五年】（一五四六）                                                                               |     |
|     | 三月六日、徳真、雲洞庵の住持に書状を遣わし、関東の情勢を伝える。                                                            |     |
| 181 | 〔雲洞庵文書〕 徳真書状……………                                                                           | 518 |
| 182 | 〔雲洞庵文書〕 上杉憲政書状……………                                                                         | 518 |
| 183 | 〔雲洞庵文書〕 某房将書状……………                                                                          | 518 |
| 184 | 〔雲洞庵文書〕 雲洞庵寺領注文断簡……………                                                                      | 518 |
| 185 | 〔雲洞庵文書〕 雲洞庵寺領注文断簡……………                                                                      | 519 |
| 186 | 〔雲洞庵文書〕 雲洞庵寺領注文断簡……………                                                                      | 520 |
| 187 | 〔細矢秀夫氏所蔵文書〕 雲洞庵寺領注文断簡……………                                                                  | 520 |
| 188 | 〔細矢秀夫氏所蔵文書〕 雲洞庵寺領注文断簡……………                                                                  | 520 |
| 189 | 〔細矢秀夫氏所蔵文書〕 雲洞庵寺領注文断簡……………                                                                  | 521 |
| 190 | 〔雲洞庵文書〕 雲洞庵上尊萱注文……………                                                                       | 522 |

|                                                                                       |                                |     |
|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----|
| 191                                                                                   | 〔高梨文書〕 高梨氏越後国知行分注文……………        | 522 |
| 【天文十六年】(一五四七)                                                                         |                                |     |
| 十二月十三日、後奈良天皇、越後国植田庄線柳院の円紹法印に、天下安全、宝祚長久の祈禱を行うよう命じる。                                    |                                |     |
| 192                                                                                   | 〔宝珠院文書〕 後奈良天皇綸旨……………           | 523 |
| 第四節 長尾政景の時代……………                                                                      |                                | 525 |
| 【天文十八年】(一五四九)                                                                         |                                |     |
| 六月五日、宇佐美定満、平子孫太郎に書状を遣わして、上田長尾氏の動向を伝え、協力を求める。ついで宇佐美の要害が放火される。                          |                                |     |
| 193                                                                                   | 〔武州文書〕 御府内下 宇佐美定満書状写……………      | 526 |
| 194                                                                                   | 〔武州文書〕 御府内下 本庄実乃書状写……………       | 526 |
| 195                                                                                   | 〔武州文書〕 御府内下 本庄実乃書状写……………       | 527 |
| 十月十四日、これより先、平子孫太郎、長尾景虎に訴えて宇賀地を還付され、長尾政景に返還を求める。この日政景の家老金子尚綱、孫太郎に書状を遣わし、これを拒絶する。       |                                |     |
| 196                                                                                   | 〔平子文書〕 長尾景虎書状……………             | 528 |
| 197                                                                                   | 〔武州文書〕 御府内下 金子尚綱書状写……………       | 528 |
| 【天文十九年】(一五五〇)                                                                         |                                |     |
| 十二月二十八日、長尾景虎、松本右京亮に書状を遣わし、長尾政景との争いの状況を伝える。                                            |                                |     |
| 198                                                                                   | 〔米沢市上杉博物館所蔵松本家文書〕 長尾景虎書状……………  | 528 |
| 【天文二十年】(一五五一)                                                                         |                                |     |
| 一月十四日、長尾景虎方の軍勢、発智長芳の居城を攻め、この日、撤退する。ついで金子尚綱、板木より長芳の居城に移り、長尾政景、長芳に書状を遣わして、尚綱と談合するよう求める。 |                                |     |
| 199                                                                                   | 〔新潟県立歴史博物館所蔵発智氏文書〕 長尾政景書状…………… | 529 |
| 200                                                                                   | 〔新潟県立歴史博物館所蔵発智氏文書〕 栗林経重書状…………… | 529 |
| 201                                                                                   | 〔新潟県立歴史博物館所蔵発智氏文書〕 長尾政景書状…………… | 529 |

一月十六日、長尾政景、穴沢新右兵衛尉の戦功を賞する。

て、上田の長尾政景を討つために近日出陣することを伝え、参陣を求める。

202 〔本間美術館所蔵穴沢文書〕 長尾政景書状……………530

209 〔武州文書〕 御府内下 大熊朝秀等連署書状……………532

203 〔本間美術館所蔵穴沢文書〕 栗林経重書状……………530

210 〔平子文書〕 長尾景虎書状……………532

一月十八日、長尾政景、小平尾小屋・須加小屋の兵士の戦功を賞する。

十一月十日、長尾政景、佐藤彦次郎の祖父と父の戦死を賞し、彦次郎に田地を給与する。

204 〔別本歴代古案〕 卷五 長尾政景感状写……………530

211 〔謙信公諸士来書〕 卷十 長尾政景判物写……………533

205 〔別本歴代古案〕 卷十六 長尾政景感状写……………530

〔天文二十一年〕 (一五五二)

二月二十一日、長尾政景の軍勢、中条玄蕃允の居城を攻め、勝利する。ついで、上野に攻め入って戦い敗れる。

五月二十四日、関東管領上杉憲政、長尾政景に書状を遣わして、長尾景虎の関東出兵の近いことを伝え、出陣の用意と山中の道路の整備を求める。

206 〔謙信公御書〕 卷一 長尾景虎感状写……………531

212 〔伊佐早謙氏所蔵文書〕 上杉憲政書状……………533

207 〔斎藤秀平氏旧蔵文書〕 長尾景虎書状……………531

〔天文二十三年〕 (一五五四)

五月十五日、宇佐美定満、平子孫太郎に書状を遣わし、長尾景虎と長尾政景の和睦の難航を伝え、救援を求める。

九月十九日、上田庄小栗山の住僧堅宗、犬伏の松芋社に参籠する。

208 〔武州文書〕 御府内下 宇佐美定満書状……………531

213 〔松芋神社内陣奥嵌板墨書〕……………533

七月二十三日、長尾景虎、平子孫太郎に書状を遣わし

214 〔松芋神社外陣西側嵌板墨書〕……………534

〔弘治元年〕 (一五五五)

|                                                                      |     |
|----------------------------------------------------------------------|-----|
| 十一月、長尾政景の子（のちの上杉景勝）誕生する。                                             |     |
| 215 「景勝公御年譜」 卷一                                                      | 534 |
| 216 「羽前米沢上杉家譜」                                                       | 534 |
| 【弘治二年】（一五五六）                                                         |     |
| 八月十七日、長尾景虎、隠遁の意志を示して越後を離れ、長尾政景、景虎に帰国を願う。この日、景虎、これを受け入れ、政景に誓書を遣わす。    |     |
| 217 「上杉家文書」 長尾景虎書状                                                   | 534 |
| 【弘治三年】（一五五七）                                                         |     |
| 三月二十三日、長尾景虎、高梨政頼らを救援するため信濃に出陣することを決め、長尾政景に参陣を求める。                    |     |
| 218 「長野県立歴史館所蔵文書」 長尾景虎書状                                             | 535 |
| 四月、長尾政景、安閑寺・長勝寺を稜巖寺の寺領とし、諸役不入を認める。                                   |     |
| 219 「歴代古案」 卷六 長尾政景判物写                                                | 535 |
| 六月十六日、武田晴信、市川藤若に書状を遣わし、信濃・上野の情勢を伝える。その中に、北条綱成が晴信に味方し、上田筋に着陣したことがみえる。 |     |
| 220 「謙信公御書集」 卷一 武田晴信書状写                                              | 536 |
| 八月四日、長尾政景、安田長秀を通じて、長尾景虎に存念を伝える。この日、景虎、政景に書状を遣わして、疎意のないことを述べる。        |     |
| 221 「上杉家文書」 長尾景虎書状                                                   | 536 |
| 八月二十九日、長尾政景、大橋弥九郎の、信濃上野原における戦功を賞する。ついで下平弥七郎の戦功を賞する。                  |     |
| 222 「歴代古案」 卷七 長尾政景感状写                                                | 537 |
| 223 「歴代古案」 卷七 長尾政景感状写                                                | 537 |
| 八月二十九日、長尾景虎、上田衆の南雲治部左衛門の、信濃上野原における戦功を賞する。                            |     |
| 224 「歴代古案」 卷一 長尾景虎感状写                                                | 537 |
| 【永祿二年】（一五五九）                                                         |     |
| 十月二十八日、長尾政景、長尾景虎の京都からの帰国を祝い、太刀を進上する。                                 |     |
| 225 「上杉家文書」 諸將太刀進上次第注文                                               | 537 |
| 【永祿三年】（一五六〇）                                                         |     |



四月二十一日、関東管領上杉憲政、長尾政景に書状を遣わして、長尾景虎の越中からの帰国を祝し、関東への出兵を要請する。

226 【伊佐早謙氏所蔵文書】上杉憲政書状……………540

五月十七日、下総佐倉の千葉胤富、海上中務少輔らに書状を遣わし、長尾景虎が上田庄の塩沢まで進軍しながら引き返したことを伝える。

227 【設楽三郎氏所蔵文書】千葉胤富書状……………540

# 【永禄四年】(一五六二)

三月十一日、長尾景虎、上田庄・妻有庄・藪神の去年の水害による地下人の疲弊を救うために、徳政令を出す。

228 【上杉家文書】長尾景虎印判状……………541

八月二十九日、上杉政虎、信濃出陣にあたり、長尾政景を越後府内の留守として、条書を遣わして諸事を指示する。

229 【上杉家文書】上杉政虎条書……………541

十月十三日、上杉政虎、直江実綱らに条書を遣わし、

上田を長尾政景に返還するため、上田に給地を得た武士に対する替地のことなどを指示する。

230 【伊佐早謙採集文書】卷十三 上杉政虎条書……………542

# 【永禄五年】(一五六三)

一月二十六日、上杉輝虎、制札を上田に下して、関東往来者の大手口通行を禁止し、直路を通るよう命じる。

231 【上杉家文書】上杉輝虎制札写……………543

二月二十八日、上野館林城将須田栄定、長尾政景に書状を遣わして、上杉輝虎の上野進攻の状況を伝え、留守中の用心に油断なきよう求める。

232 【上杉家文書】須田栄定書状……………543

十一月九日、長尾政景、府内の横目を命じられ、起請文を河田長親に提出する。

233 【伊佐早文書】長尾政景起請文……………544

# 【永禄六年】(一五六四)

四月二十三日、越後府内留守中の長尾政景、関東在陣中の上杉輝虎に書状を遣わし、状況を報告する。ついで輝虎、政景に返書を遣わし、関東の状況を伝える。

|     |                                                                                                    |     |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 234 | 〔謙信公御書集〕 卷三 上杉輝虎書状写……………                                                                           | 544 |
|     | 十一月十一日、醍醐寺の僧某、越後府中より上野に赴<br>く途中、湯沢に泊る。ついで、浅貝に泊る。                                                   |     |
| 235 | 〔国立歴史民俗博物館所蔵田中穰氏旧蔵文書〕 北<br>国下り遣足帳……………                                                             | 545 |
|     | 十二月四日、長尾政景、越後大窪の大工神五郎に、大<br>鐘を製作する権利を認める。                                                          |     |
| 236 | 〔極楽寺文書〕 長尾政景判物写……………                                                                               | 546 |
|     | 十二月二十一日、上杉輝虎、里見義堯に書状を遣わし<br>て、関東出兵のため浅貝に着陣したことを伝え、出兵<br>を要請する。                                     |     |
| 237 | 〔豊岡一夫氏所蔵文書〕 上杉輝虎書状……………                                                                            | 546 |
|     | 【永禄七年】(一五六四)                                                                                       |     |
|     | 二月十七日、上杉輝虎、下野佐野城を攻略し、長尾時<br>宗配下の兵士と、栗林次郎左衛門尉の戦功を賞する。<br>ついで時宗、下平弥七郎・内田文三の戦功を賞する。                   |     |
| 238 | 〔登阪文書〕 上杉輝虎感状……………                                                                                 | 547 |
| 239 | 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕 上杉輝虎感<br>状……………                                                                  | 549 |
| 240 | 〔謙信公御書〕 卷三(楠川四郎兵衛所持) 上杉輝<br>虎感状写……………                                                              | 549 |
| 241 | 〔謙信公御書〕 卷一(宮島甚右衛門所持) 上杉輝<br>虎感状写……………                                                              | 549 |
| 242 | 〔歴代古案〕 卷七 長尾時宗感状写……………                                                                             | 549 |
| 243 | 〔井上慶隆氏所蔵文書〕 長尾時宗感状……………                                                                            | 549 |
|     | 三月四日、上杉輝虎、萩原伊賀守・蔵田五郎左衛門に<br>書状を遣わし、春日山城を堅く守るよう指示する。そ<br>の中で、上田衆への知行配当のこと、長尾政景が春日<br>山城に入ったことが記される。 |     |
| 244 | 〔歴代古案〕 卷七 上杉輝虎書状……………                                                                              | 550 |
|     | 七月五日、長尾政景、野尻池で遊び溺死する。                                                                              |     |
| 245 | 〔謙信公御年譜〕 卷七……………                                                                                   | 551 |
| 246 | 〔謙信公御書集〕 卷三……………                                                                                   | 551 |
| 247 | 〔越後治乱記〕 下 新発田籠城之事……………                                                                             | 552 |
| 248 | 〔国分威胤見聞録〕……………                                                                                     | 553 |
| 249 | 〔歴代古案〕 卷六 長尾政景書状写……………                                                                             | 553 |

|                           |                                 |     |
|---------------------------|---------------------------------|-----|
| 250                       | 〔上杉家文書〕上杉輝虎書状……………              | 554 |
| 251                       | 〔上杉家文書〕上杉輝虎書状……………              | 554 |
| 252                       | 〔東京大学史料編纂所所蔵古文書雜纂〕一 上杉輝虎書状…………… | 554 |
| 253                       | 〔上杉家文書〕関屋政朝書状……………              | 554 |
| 第五節                       | 長尾喜平次の時代……………                   | 555 |
| 【永祿八年】(一五六五)              |                                 |     |
| 四月二十四日、上杉輝虎、河田長親に書状を遣わし、  |                                 |     |
| 長尾顕景の者共らを先勢として上野国長井に陣取らせ  |                                 |     |
| ることなどについて相談する。            |                                 |     |
| 254                       | 〔早稲田大学図書館所蔵文書〕上杉輝虎書状写……………      | 556 |
| 五月二十二日、上杉輝虎、長尾伊勢守らに書状を遣わ  |                                 |     |
| し、武田信玄の侵攻に備え、すぐに上野国倉内へ加勢  |                                 |     |
| するよう命じるが、二十五日には敵の出兵が確認でき  |                                 |     |
| 次第、倉内へ移るよう訂正する書状を遣わす。     |                                 |     |
| 255                       | 〔上杉定勝古案集〕上杉輝虎書状写……………           | 556 |
| 256                       | 〔上杉定勝古案集〕上杉輝虎書状写……………           | 557 |
| 七月十九日、上杉輝虎、長尾伊勢守らに書状を遣わし、 |                                 |     |
| 至急上野国倉内へ移るよう命じる。          |                                 |     |
| 257                       | 〔個人蔵文書〕上杉輝虎書状……………              | 557 |
| 【永祿九年】(一五六六)              |                                 |     |
| 三月十日、足利義秋、長尾顕景に相模の北条氏と和睦  |                                 |     |
| し上洛するよう要請する。              |                                 |     |
| 258                       | 〔上杉家文書〕足利義秋御内書……………             | 557 |
| 259                       | 〔上杉家文書〕大覚寺義俊副状……………             | 558 |
| 260                       | 〔謙信公御書集〕卷十 上杉輝虎書状写……………         | 558 |
| 261                       | 〔新潟県立歴史博物館所蔵文書〕上杉輝虎書状……………      | 558 |
| 四月一日、上杉輝虎、栗林次郎左衛門尉に書状を遣わ  |                                 |     |
| し、上野国猿京近辺の人質を倉内から引き取るよう命  |                                 |     |
| じる。                       |                                 |     |
| 262                       | 〔真如苑所蔵文書〕上杉輝虎書状……………            | 558 |
| 四月二十日、長尾顕景、広居又五郎・下平右近允に感  |                                 |     |
| 状を与え、下総国白井を攻めた際の戦功を賞する。   |                                 |     |
| 263                       | 〔長岡市立中央図書館所蔵文書〕長尾顕景感状……………      | 559 |
| 264                       | 〔歴代古案〕卷七 長尾顕景感状写……………           | 559 |
| 九月九日、上杉輝虎、蘭新左衛門尉・馬杉兵庫助に書  |                                 |     |

状を遣わし、関東の備えとして再び上田まで出馬すると伝える。

265 〔宮栄二氏所蔵文書〕 上杉輝虎書状……………559

【永禄十年】（一五六七）

四月二日、上杉輝虎、松本景繁らに書状を遣わし、上田衆と相談し北条高広の陣所を攻めるよう命じる。

266 〔謙信公御書〕 卷三 上杉輝虎書状写……………560

【永禄十一年】（一五六八）

正月八日、上杉輝虎、沼田在城衆へ書状を遣わし、敵方への備えを強化するよう命じる。そのなかで上田衆にも加勢の準備を指示していることがみえる。

267 〔雙玄寺文書〕 上杉輝虎書状……………560

十月二十二日、上杉輝虎、本庄攻めのため柏崎まで出馬し、栗林次郎左衛門尉に書状を遣わし、傍輩共を急ぎ率いて三ヶ津へ出陣するよう命じる。

268 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕 上杉輝虎書状……………561

十二月二十四日、村上城主本庄繁長、由井源三（北条

氏照）に書状を遣わし、一刻も早く上田までも出兵し、上杉輝虎の背後をついてくれることを願う。

269 〔米沢市上杉博物館所蔵文書〕 本庄繁長書状……………562

【永禄十二年】（一五六九）

四月二十八日、上杉輝虎、栗林次郎左衛門尉の菅名口での戦功を賞し、早々に帰り人馬を休めるよう伝える。

270 〔米沢市上杉博物館所蔵栗林文書〕 上杉輝虎書状……………562

五月十八日、相模の北条家から上杉家へ遣わされた使者の一行が塩沢に到着する。

271 〔本間美術館所蔵文書〕 進藤家清書状……………562

272 〔歴代古案〕 卷五 遠山康光書状写……………563

閏五月十六日、広泰寺昌派、本庄宗緩に書状を遣わす。そのなかに上田で栗林次郎左衛門尉が鶴久尾を一双持参したことがみえる。

273 〔上杉家文書〕 広泰寺昌派書状……………564

六月七日、長尾顕景、下平右近亮・佐藤縫殿助の本庄村上における戦功を賞す。



|                                                                                         |                               |     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|-----|
| 274                                                                                     | 〔謙信公諸士来書〕 卷十 長尾顕景感状写……………     | 564 |
| 275                                                                                     | 〔景勝公御書〕 卷廿 長尾顕景感状写……………       | 565 |
| 十一月二十四日、北条氏康、山吉豊守に書状を遣わす。そのなかで上杉輝虎の塩沢着陣が伝えられていたことがみえる。                                  |                               |     |
| 276                                                                                     | 〔山吉文書〕 北条氏康書状……………            | 565 |
| 【永祿十三年・元亀元年】(一五七〇)                                                                      |                               |     |
| 二月二日、上杉輝虎、下平右近亮の下野国佐野飯守山での戦功を賞す。また長尾時宗、内田・下平右近亮の戦功を賞す。また長尾顕景、小山弥兵衛・下平右近亮・広居善右衛門尉の戦功を賞す。 |                               |     |
| 277                                                                                     | 〔謙信公御書〕 卷一 上杉輝虎感状写……………       | 565 |
| 278                                                                                     | 〔謙信公御書集〕 卷十 長尾時宗感状写……………      | 566 |
| 279                                                                                     | 〔謙信公御書集〕 卷十 長尾時宗感状写……………      | 566 |
| 280                                                                                     | 〔謙信公諸士来書〕 卷十 長尾顕景感状写……………     | 566 |
| 281                                                                                     | 〔謙信公諸士来書〕 卷十 長尾顕景感状写……………     | 566 |
| 282                                                                                     | 〔長岡市立中央図書館所蔵文書〕 長尾顕景感状……………   | 566 |
| 九月五日、上杉謙信、武田信玄の上野侵攻に備え上田                                                                |                               |     |
| に在陣するために越府を出発する。                                                                        |                               |     |
| 283                                                                                     | 〔米沢市上杉博物館所蔵文書〕 北条高広書状……………    | 566 |
| 284                                                                                     | 〔真田宝物館所蔵文書〕 上杉謙信書状……………       | 567 |
| 十月十日、上杉謙信、武田信玄侵攻の報をうけ、栗林次郎左衛門尉らに急ぎ陣触れを行い出陣するよう命じる。                                      |                               |     |
| 285                                                                                     | 〔板屋文書〕 上杉謙信書状写……………           | 568 |
| 十一月二十四日、上杉謙信、栗林次郎左衛門尉に武田信玄の動きを伝え、沼田を攻められた場合には速やかに援軍に駆けつけるよう命じる。                         |                               |     |
| 286                                                                                     | 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕 上杉謙信書状…………… | 568 |
| 【元亀二年】(一五七二)                                                                            |                               |     |
| 二月二十七日、上杉謙信、栗林次郎左衛門尉に長尾顕景の軍勢を沼田へ移すよう命じる。翌二十八日、敵退却の報を得て撤回し、急ぎ越後府中へ登るよう命じる。               |                               |     |
| 287                                                                                     | 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕 上杉謙信書状…………… | 569 |

- 288 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕 上杉謙信書  
 状……………569
- 289 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕 上杉謙信書  
 状……………569
- 五月二日、上杉謙信、栗林次郎左衛門尉らに書状を遣  
 わし、上田衆を動員し浅貝に寄居を築くよう命じる。  
 ついで二十八日、次郎左衛門尉に書状を遣わし、浅貝  
 寄居に軍役以外に五十余人の足輕を在城させているこ  
 とを賞す。
- 290 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕 上杉謙信書  
 状……………570
- 291 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕 上杉謙信書  
 状……………570
- 七月一日、上杉謙信、栗林次郎左衛門尉らに、加地衆  
 らを新地（浅貝寄居か）まで送り届けるよう命じる。
- 292 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕 上杉謙信書  
 状……………571
- 【元龜三年】（一五七二）
- 二月十六日、上杉謙信、相模北条氏の厩橋侵攻の報を  
 うけ、栗林次郎左衛門尉らに書状を遣わし、至急軍勢  
 を上野国倉内へ移すよう命じる。
- 293 〔米沢市上杉博物館所蔵栗林文書〕 上杉謙信書状  
 ……………571
- 294 〔板屋文書〕 上杉謙信書状……………571
- 四月二十八日、上杉謙信、栗林次郎左衛門尉に書状を  
 遣わし、敵方の動き次第で上田衆を出馬させ、地下人  
 まで動員できるよう準備をさせる。
- 295 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕 上杉謙信書  
 状……………572
- 七月二十三日、上杉謙信、栗林次郎左衛門尉に書状を  
 遣わし、相模北条氏侵攻の報をうけ至急上野国倉内へ  
 移るよう命じる。ついで八月十日、次郎左衛門尉に書  
 状を遣わし、北条・武田が厩橋に侵攻した際には、地  
 下人も集めて加勢するよう命じる。
- 296 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕 上杉謙信書  
 状……………572

|     |                                                                            |     |
|-----|----------------------------------------------------------------------------|-----|
| 297 | 〔東京大学史料編纂所蔵栗林文書〕 上杉謙信書状……………                                               | 572 |
|     | 九月十日、上杉謙信、越中の陣中から栗林次郎左衛門尉らに書状を遣わし、上田衆を寄こすよう命じる。ついで十三日、次郎左衛門尉に越中までの行軍方法を示す。 |     |
| 298 | 〔東京大学史料編纂所蔵栗林文書〕 上杉謙信書状……………                                               | 573 |
| 299 | 〔東京大学史料編纂所蔵栗林文書〕 上杉謙信書状……………                                               | 573 |
|     | 九月十八日、上杉謙信、越中の陣中から長尾顕景らに書状を遣わし、武田信玄の侵攻に備え早急に春日山へ移るよう命じる。                   |     |
| 300 | 〔謙信公御書〕 卷四 上杉謙信書状写……………                                                    | 574 |
| 301 | 〔上杉家文書〕 上杉謙信書状……………                                                        | 574 |
|     | 【元亀四年・天正元年】（一五七三）                                                          |     |
|     | 正月二十日、越中の椎名康胤、長尾顕景・栗林次郎左衛門尉に書状を送り、上杉との和睦に際して奔走して                           |     |
|     | くれたことを感謝する。                                                                |     |
| 302 | 〔歴代古案〕 卷三 椎名康胤書状写……………                                                     | 576 |
| 303 | 〔東京大学史料編纂所蔵栗林文書〕 椎名康胤書状……………                                               | 576 |
|     | 【天正二年】（一五七四）                                                               |     |
|     | 八月三日、上杉謙信、相模北条氏侵攻の報をうけ、上条政繁・上杉十郎らに至急塩沢から倉内へ移るよう命じる。                        |     |
| 304 | 〔歴代古案〕 卷一 上杉謙信書状写……………                                                     | 576 |
|     | 九月十一日、上杉謙信、上野へ向け出馬し、栗林次郎左衛門尉らに書状を遣わし、明日には塩沢に着くので急ぎ上野国倉内へ着陣するよう命じる。         |     |
| 305 | 〔東京大学史料編纂所蔵栗林文書〕 上杉謙信書状……………                                               | 577 |
|     | 【天正三年】（一五七五）                                                               |     |
|     | 正月十一日、上杉謙信、長尾顕景に上杉の名字、彈正少弼の官途を与え、実名を景勝と改めさせる。                              |     |
| 306 | 〔上杉家文書〕 上杉謙信書状……………                                                        | 577 |

|     |                                                     |     |
|-----|-----------------------------------------------------|-----|
| 307 | 〔上杉家文書〕 上杉謙信書状……………                                 | 577 |
| 308 | 〔上杉家文書〕 上杉謙信書状……………                                 | 578 |
| 309 | 〔上杉家文書〕 上杉謙信書状……………                                 | 578 |
| 310 | 〔上杉家文書〕 上杉謙信書状……………                                 | 578 |
| 311 | 〔上杉家文書〕 上杉謙信書状……………                                 | 578 |
| 312 | 〔吉澤喜三氏所蔵文書〕 上杉謙信書状……………                             | 579 |
|     | 二月四日、上杉景勝、普光寺から官途成等の祝儀を贈られ札を述べる。                    |     |
| 313 | 〔普光寺文書〕 上杉景勝書状写……………                                | 579 |
|     | 二月九日、上杉景勝、吉江資堅に軍役の人数・内訳を書き上げ提出する。                   |     |
| 314 | 〔吉江文書〕 上杉景勝軍役指出……………                                | 579 |
|     | 六月二十八日、上杉謙信、普光寺に寺領を寄進する。                            |     |
| 315 | 〔普光寺文書〕 上杉謙信判物……………                                 | 580 |
| 316 | 〔普光寺文書〕 上杉謙信書状……………                                 | 580 |
|     | 十月三日、楡井親忠、福昌庵の寺領を安堵する。                              |     |
| 317 | 〔新編会津風土記〕 卷百十六 楡井親忠判物写……………                         | 580 |
|     | 【天正四年】（一五七六）                                        |     |
|     | 三月二十九日、上杉謙信、河田重親に書状を遣わし、来月初旬に直江景綱を上田まで出馬させると伝える。    |     |
| 318 | 〔歴代古案〕 卷一 上杉謙信書状写……………                              | 580 |
|     | 三月三十日、上杉景勝、佐藤平左衛門の本領を安堵する。                          |     |
| 319 | 〔景勝公御書〕 卷三 上杉景勝カ判物写……………                            | 581 |
|     | 四月十日、上杉景勝、泉沢久秀に舞子のうち十貫文の地、および屋敷七間を宛行う。              |     |
| 320 | 〔歴代古案〕 卷九 上杉景勝判物写……………                              | 581 |
|     | 九月八日、上杉謙信、越中の陣中から栗林次郎左衛門尉に書状を遣わし、関東口の人留めを堅くするよう命じる。 |     |
| 321 | 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕 上杉謙信書状……………                       | 582 |
|     | 【天正五年】（一五七七）                                        |     |
|     | 三月二十七日、上杉謙信、栗林次郎左衛門尉らに書状を遣わし、能登国石動山城の守備について指示する。    |     |
| 322 | 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕 上杉謙信書                             |     |



|                                         |                              |     |                                                                                                     |                            |
|-----------------------------------------|------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 状……………                                  | 582                          | 330 | 〔雲洞庵文書〕上杉景勝書状……………                                                                                  | 587                        |
| 323                                     | 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕上杉謙信書状…………… | 582 | 五月十六日、上杉景勝、福王寺兵部少輔に書状を遣わし、大場合戦における弥太郎の戦功を賞し、深沢刑部少輔と相談して守備するよう命じる。                                   |                            |
| 324                                     | 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕上杉謙信書状…………… | 583 | 331                                                                                                 | 〔景勝公御書〕巻四 上杉景勝感状写……………     |
| 325                                     | 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕上杉謙信書状…………… | 583 | 五月十八日、上杉景勝、深沢刑部少輔に上野国との境目両口の備えを強化し、城普請を油断なく行うよう命じる。二十一日、刑部少輔が上野国倉内から猿ヶ京へ侵攻する敵を退散させたことを賞する。          |                            |
| 326                                     | 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕栗林房頼書状…………… | 583 | 332                                                                                                 | 〔米沢市上杉博物館所蔵文書〕上杉景勝書状写…………… |
| 327                                     | 〔上杉家文書〕上村尚秀書状……………           | 583 | 333                                                                                                 | 〔伊佐早文書〕上杉景勝書状……………         |
| 七月晦日、上杉謙信、樺野沢の龍沢庵門前の諸役を免許する。            |                              |     | 五月二十四日、上杉景勝、猿ヶ京から加勢を求められた深沢刑部少輔に書状を遣わし、半途まで援軍を送り様子を知らせるよう命じる。また、富里三郎左衛門尉らにも人数を集めて防戦し、深沢らと談合するよう命じる。 |                            |
| 328                                     | 〔龍澤寺文書〕上杉謙信朱印状……………          | 585 | 334                                                                                                 | 〔下條文書〕上杉景勝書状……………          |
| 329                                     | 〔法音寺文書〕上杉謙信書状……………           | 585 | 335                                                                                                 | 〔景勝公御書〕巻八 上杉景勝書状写……………     |
| 第六節 御館の乱……………                           | 586                          |     |                                                                                                     |                            |
| 【天正六年】(一五七八)                            |                              |     |                                                                                                     |                            |
| 四月二十二日、上杉景勝、雲洞庵から代替わりの祝儀として錢百疋を贈られ感謝する。 |                              |     |                                                                                                     |                            |

|     |                                                                                                     |     |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 336 | 〔覺上公御書集〕卷一 上杉景勝書狀写……………                                                                             | 589 |
| 337 | 〔景勝公御書〕卷十 上杉景勝書狀写……………                                                                              | 589 |
|     | 六月三日、上杉景勝、小森沢政秀に書狀を遣わし、そのなかで政秀の人質提出は不要であることを上田へも知らせると伝える。                                           |     |
| 338 | 〔永山祐三氏所藏文書〕上杉景勝書狀……………                                                                              | 590 |
|     | 六月十一日、北条氏政、河田重親に起請文を送り、味方の先勢として上田庄へ出馬したならば、本領を安堵し、所望の地について配慮することを誓う。                                |     |
| 339 | 〔伊佐早謙採集文書〕六卷 北条氏政起請文写……………                                                                          | 590 |
|     | 六月十六日、上杉景勝、小森沢政秀に書狀を遣わし、市川や上田衆のことについて伝える。                                                           |     |
| 340 | 〔永山祐三氏所藏文書〕上杉景勝カ書狀……………                                                                             | 591 |
|     | 六月十七日、上杉景勝、深沢刑部少輔に鉄炮放しがいたら寄こすよう命じる。同日、佐藤平左衛門尉らに書狀を遣わし、平左衛門尉に持たせた鉄炮二丁を赤沢の武主として遣わす樋口与三右衛門尉に持たせるよう命じる。 |     |
| 341 | 〔志賀横太郎氏所藏文書〕上杉景勝書狀……………                                                                             | 591 |
| 342 | 〔景勝公御書〕卷三 上杉景勝書狀写……………                                                                              | 592 |
|     | 六月二十七日、上杉景勝、富里三郎左衛門尉・深沢刑部少輔に書狀を遣わし、登坂与右衛門とともに荒砥か山中辺りで防戦するよう命じる。                                     |     |
| 343 | 〔景勝公御書〕卷八 上杉景勝書狀写……………                                                                              | 592 |
|     | 六月、上杉景勝、下倉から船一艘を自由に通行できる過所を発給する。                                                                    |     |
| 344 | 〔宮文書〕上杉景勝過所……………                                                                                    | 593 |
|     | 七月五日、上杉景勝、深沢刑部少輔らに書狀を遣わし、荒砥・直路両城の普請を行い、関東の状況を随時報告するよう命じる。十二日、樺沢城以外の山小屋を引き払い、坂戸城の普請も油断なく行うよう命じる。     |     |
| 345 | 〔登坂文書〕上杉景勝書狀……………                                                                                   | 593 |
| 346 | 〔景勝公御書〕卷四 上杉景勝書狀写……………                                                                              | 594 |
| 347 | 〔本間美術館所藏文書〕上杉景勝書狀……………                                                                              | 594 |
|     | 七月二十七日、河田禅忠（長親）、栗林に書狀を送り、上杉景勝・同景虎の和睦交渉について意見を述べる。                                                   |     |

- 348 〔東京大学史料編纂所蔵栗林文書〕 河田禪忠書  
 状……………595
- 七月二十八日、上杉景勝、深沢刑部少輔・佐藤平左衛門尉に金子太学助が欠け落ちしたことを伝える。
- 349 〔吉川金藏氏旧蔵文書〕 上杉景勝書状写……………595
- 350 〔景勝公御書〕 卷三 上杉景勝感状写……………596
- 八月十二日、上杉景勝、浦沢別当に書状を送り、今後も談合して備えを固め、地侍から誓詞を取るよう伝える。
- 351 〔普光寺文書〕 上杉景勝書状……………596
- 八月十五日、上杉景勝、山岸光祐らに書状を遣わし、本庄清七郎が上田に攻撃をしかけたとの報があつたために加勢が遅れたと伝える。
- 352 〔景勝公御書〕 卷十三 上杉景勝書状写……………597
- 八月十五日、上杉景勝、深沢刑部少輔に書状を遣わし、直路・荒砥城へも鉄炮の玉薬を届け、栗林治部少輔は早急に荒砥へ移すよう命じる。十六日、刑部少輔のもとへ安部仁助・嶋津左京亮を遣わし、談合して広瀬を攻撃するよう命じる。
- 353 〔伊佐早文書〕 上杉景勝書状……………597
- 354 〔別本歴代古案〕 卷十三 上杉景勝書状写……………598
- 355 〔維宝堂古文書〕 上杉景勝書状……………598
- 356 〔景勝公御書〕 卷十 上杉景勝書状写……………598
- 八月二十五日、上杉景勝、佐藤平左衛門尉に書状を遣わし、北条に対し晦日に攻撃をしかけるので、隠密で準備、陣触れを進めるよう命じる。
- 357 〔上杉定勝古案集〕 上杉景勝書状写……………599
- 九月十日、武田勝頼、真田昌幸に書状を遣わし、上田への攻撃の様子などを頻りに注進するよう伝える。
- 358 〔真田宝物館所蔵文書〕 武田勝頼書状……………599
- 九月十一日、上杉景勝、小森沢政秀らに書状を遣わす。そのなかに上田筋への出兵についての記事がみえる。
- 359 〔永山祐三氏所蔵文書〕 上杉景勝書状……………599
- 九月十二日、上杉景勝、栗林治部少輔・深沢刑部少輔らに武田氏から加勢があるので申し合わせるよう指示し、登坂与右衛門尉が深手を負い死去したことを伝える。



- る。
- 360 〔伊佐早謙氏採集文書〕 十六卷 上杉景勝書狀写  
..... 600
- 九月十二日、上杉景勝、佐藤平左衛門尉に椿喜助が広瀬の者たちを召し連れ欠け落ちしたことを伝える。
- 361 〔景勝公御書〕 卷三 上杉景勝書狀写..... 601
- 九月二十二日、上杉景勝、武田氏の加勢がないとの報をうけ、清水内蔵助・栗林治部少輔らに二、三日中に到着するだろうと伝える。二十四日、治部少輔らに武田の援軍が到着し敵を撃退することを願うと伝える。
- 362 〔景勝公御書〕 卷十 上杉景勝書狀写..... 601
- 363 〔維宝堂古文書〕 上杉景勝書狀..... 601
- 364 〔伊佐早謙採集文書〕 十六卷 上杉景勝書狀写..... 602
- 九月二十七日、上杉景勝、栗林治部少輔らに書狀を遣わし、援軍のないなか防戦したことを賞し、妻有に着陣した武田勢を上田表へ向かわせたいと伝える。
- 365 〔志賀横太郎氏所蔵文書〕 上杉景勝書狀..... 603
- 九月二十八日、上杉景勝、小川左衛門尉に田中と談合し、上田口の要である両城を堅固に守るよう命じる。
- 366 〔上杉家文書〕 上杉景勝書狀写..... 603
- 十月五日、上杉景勝、清水内蔵助に書狀を遣わし、小森沢政秀・金子二郎右衛門尉が加わった内蔵助の居城における在番の配置を指示する。
- 367 〔景勝公御書〕 卷十 上杉景勝書狀写..... 604
- 十月十日、河田重親、上杉景虎から上田庄乱入の戦功を賞され、沼田実城と倉内領の支配を安堵される。また、樺沢に在城する北条芳林と諸事相談するよう命じられる。十二日、河田重親、上杉景勝から味方に与るよう誘われる。
- 368 〔伊佐早謙採集文書〕 六卷 上杉景虎書狀写..... 604
- 369 〔伊佐早謙採集文書〕 六卷 上杉景虎書狀写..... 605
- 370 〔覚上公御書集〕 卷二 上杉景虎書狀写..... 605
- 371 〔歴代古案〕 卷一 上杉景虎書狀写..... 605
- 十月十三日、上杉景勝、市之沢を攻略した小森沢政秀を賞する。ついで十五日、政秀に城内へ移り、在所を申し付けた清水内蔵助と談合するよう命じる。



|     |                                                                                                                               |     |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 372 | 〔永山祐三氏所蔵文書〕 上杉景勝書状……………                                                                                                       | 606 |
| 373 | 〔永山祐三氏所蔵文書〕 上杉景勝書状……………                                                                                                       | 606 |
|     | 十一月十六日、北条氏政、樺沢城に在城する後藤左京入道に書状を遣わし慰勞する。                                                                                        |     |
| 374 | 〔武家事紀〕 卷三十三 北条氏政書状写……………                                                                                                      | 606 |
|     | 十二月九日、北条氏政、河田重親に來春氏政が出馬するまで樺沢に在城して防戦するよう命じる。                                                                                  |     |
| 375 | 〔伊佐早謙採集文書〕 卷六 北条氏政書状写……………                                                                                                    | 607 |
|     | 十二月十七日、上杉景勝、上田に帰る雲洞庵の存達に書状を託す。樋口主水助らに宛てた書状では、若輩の傍輩共と涯分談合して正月、二月中に一功挙げるよう励ます。栗林治部少輔・深沢刑部少輔に宛てた書状では、これまでの武主としての悪い態度や対応を厳しく叱咤する。 |     |
| 376 | 〔米沢市上杉博物館所蔵文書〕 上杉景勝書状……………                                                                                                    | 607 |
| 377 | 〔米沢市上杉博物館所蔵文書〕 上杉景勝書状……………                                                                                                    | 608 |
|     | 十二月十九日、上杉景勝、上田を出て春日山で働きたいと申し出た登坂与五郎・同神兵衛尉に書状を遣わし、                                                                             |     |
| 378 | 奉公する場はどこでも同じであるから残留するよう諭す。                                                                                                    |     |
| 378 | 〔景勝公御書〕 卷十 上杉景勝書状写……………                                                                                                       | 609 |
|     | 十二月二十四日、上田衆の交名が作成される。                                                                                                         |     |
| 379 | 〔米沢市上杉博物館所蔵文書〕 上田衆交名注文……………                                                                                                   | 610 |
|     | 【天正七年】（一五七九）                                                                                                                  |     |
|     | 二月初め、上田の軍勢、北条芳林の籠もる樺沢城を攻め、二、三の曲輪まで焼き払い二百人余を討ち取る。                                                                              |     |
|     | 長尾景憲、樺沢城から退去して上杉景勝方に与する。                                                                                                      |     |
| 380 | 〔景勝公諸士來書〕 卷廿 新発田長敦等連署状写……………                                                                                                  | 611 |
|     | ……………                                                                                                                         |     |
| 381 | 〔上杉定勝古案集〕 上杉景勝書状写……………                                                                                                        | 612 |
|     | 二月七日、上杉景勝、長尾景憲・栗林治部少輔に書状を遣わし、坂戸山に置く番手の手配を命じる。                                                                                 |     |
| 382 | 〔景勝公御書〕 卷三 上杉景勝書状写……………                                                                                                       | 612 |
|     | 二月八日、上杉景勝、深沢刑部少輔に直路・荒砥と申し合わせて早急に下倉を攻めるよう命じる。                                                                                  |     |
| 383 | 〔覺上公御書集〕 卷三 上杉景勝書状写……………                                                                                                      | 613 |

- 二月二十三日、上杉景勝、深沢刑部少輔らに書状を遣わし、館の落城目前につき早急に軍勢を寄こすよう命じるとともに、地下人を集めて荒砥・直路両城の普請を進めるよう指示する。
- 384 〔景勝公御書〕 卷十 上杉景勝書状写……………613  
 二月二十四日、北条氏政、伊豆韮山在番の清水康英に書状を遣わし、上田庄にいる北条芳林の去就を伝える。
- 385 〔宮崎求馬氏所藏文書〕 北条氏政書状……………614  
 二月、上杉景勝、清水藤左衛門に浦沢を預け置く。
- 386 〔歴代古案〕 卷十 上杉景勝朱印状写……………615  
 三月三日、武田勝頼、新発田長敦に書状を送る。そのなかに樺沢城以下数ヶ所の砦が落城したことがみえる。
- 387 〔景勝公諸士来書〕 卷廿 武田勝頼書状写……………615  
 三月七日、上杉景勝、清水内蔵助・小森沢政秀に刈羽郡の大沢城・高柳へ早急に人数を集め入れ置くよう命じる。
- 388 〔景勝公御書〕 全 上杉景勝書状写……………615  
 三月十二日、上杉景勝、下倉城を攻め敵数百人討ち
- 取った桜井三介・佐藤平左衛門尉らの戦功を賞する。
- 389 〔景勝公御書〕 卷三 上杉景勝書状写……………616  
 三月十九日、上杉景勝、浅間修理亮に書状を遣わし、呼び寄せた栗林らを今日上田へ帰すこと、樺沢城を早々破却すること、清水内蔵助か小森沢政秀が帰った際には修理亮を呼び戻すことなどを伝える。
- 390 〔上越市所藏文書〕 上杉景勝書状……………616  
 四月三十日、上杉景勝、登坂与五郎らに黄金十枚を送り、在番する足輕に堪忍料として配当するよう指示する。
- 391 〔景勝公御書〕 卷十 上杉景勝書状写……………617  
 六月十日、上杉景勝、佐藤平左衛門尉の広瀬・三条における戦功を賞し、下倉山を預け置く。
- 392 〔景勝公御書〕 卷三 上杉景勝感状写……………617  
 第七節 上杉景勝の時代……………618
- 【天正八年】(一五八〇)  
 三月三十日、上杉景勝、深沢刑部少輔に坂戸城の普請を進め、直路城の守備にも意見するよう命じる。

|     |                                                                              |     |
|-----|------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 393 | 〔軒沢理一氏所藏文書〕 上杉景勝書状……………                                                      | 619 |
|     | 閏三月、下倉在番の桜井三介・佐藤平左衛門尉ら、敵地へ往復して再々勝利を重ねて敵を討ち取り、ついで敵の籠もる天蓋倉城を攻略する。              |     |
| 394 | 〔景勝公御書〕 卷三 上杉景勝書状……………                                                       | 619 |
| 395 | 〔景勝公御書〕 卷三 上杉景勝書状……………                                                       | 620 |
| 396 | 〔景勝公御書〕 卷三 上杉景勝書状……………                                                       | 620 |
|     | 閏三月十三日、上杉景勝、丸山無兵衛尉の一昨年以來の奉公に対し、上田上川・大崎村に知行を宛行う。                              |     |
| 397 | 〔上杉定勝古案集〕 上杉景勝宛行状……………                                                       | 620 |
|     | 閏三月二十五日、北条氏政、荒砥城を攻め樋口某以下数百人を討ち取った木内八右衛門の戦功を賞する。                              |     |
| 398 | 〔木内氏所藏文書〕 北条氏政感状……………                                                        | 621 |
|     | 四月二十六日、上杉景勝、佐藤平左衛門尉に書状を遣わし、会津に通じる宿場の整備を進めさせ、炭などは上田から調達するよう命じる。               |     |
| 399 | 〔景勝公御書〕 卷三 上杉景勝書状……………                                                       | 621 |
|     | 五月十八日、上杉景勝、長尾景憲・栗林治部少輔ら上田在番六名に書状を遣わし、昼夜の用心普請を油断なく行い、下倉・まないたひらと連絡を密にするよう指示する。 |     |
| 400 | 〔上杉定勝古案集〕 上杉景勝書状……………                                                        | 622 |
|     | 九月三日、上杉景勝、某に塩沢郷・片田・小栗山・上みさね・君帰を宛行う。                                          |     |
| 401 | 〔景勝公御書〕 卷十七 上杉景勝朱印状……………                                                     | 622 |
|     | 十一月二十二日、上杉景勝、荒砥に在城する登坂甚兵衛尉に知行を宛行う。                                           |     |
| 402 | 〔穴沢吉太郎氏所藏文書〕 上杉景勝判物……………                                                     | 623 |
|     | 十二月十一日、上杉景勝、直路に在城する登坂与五郎に丸山助兵衛尉ら五名分の旧知行を宛行う。                                 |     |
| 403 | 〔長岡市立中央図書館所藏〕 上杉景勝判物……………                                                    | 623 |
| 404 | 〔伊佐早謙採集文書〕 十六卷 直江兼統書状……………                                                   | 623 |
|     | 十二月、上杉景勝、越中国魚津在番の島倉孫左衛門死去につき、孫左衛門の実弟大井田藤三を魚津へ遣わす。                            |     |
| 405 | 〔山田文書〕 (越佐史料卷五所収) 上杉景勝書状……………                                                | 624 |



- 406 〔伊佐早謙氏採集文書〕 卷六 河田禪忠書狀写……………624
- 【天正九年】（一五八一）
- 一月二日、信濃国龍雲寺の北高全祝、雲洞庵の存達に、龍雲寺は雲洞庵の末寺であるとして譲り与える。
- 407 〔雲洞庵文書〕 北高全祝証狀……………624
- 二月三日、上杉景勝、荒砥に在城する富里三郎左衛門尉に小木六などの知行を宛行う。
- 408 〔景勝公御書〕 卷八 上杉景勝判物写……………625
- 二月九日、上杉景勝、清水藤左衛門に豊野弥五郎の旧知行、某に古藤新右衛門尉の旧知行などを宛行う。
- 409 〔覚上公御書集〕 卷五 上杉景勝朱印狀写……………625
- 410 〔景勝公御書〕 卷十八 上杉景勝朱印狀写……………625
- 二月十九日、上杉景勝、浅間石見守に与川郷給分を宛行う。
- 411 〔個人藏文書〕 上杉景勝宛行狀写……………626
- 二月二十日、上杉景勝、深沢刑部少輔に塩沢郷・富美・片田の内に知行を宛行う。
- 412 〔景勝公御書〕 卷十七 上杉景勝朱印狀写……………626
- 413 〔伊佐早文書〕 上杉景勝書狀……………626
- 414 〔磯部文書〕 直江兼統判物……………626
- 二月二十八日、上杉景勝、荒砥に在城する樋口与三右衛門尉に石白にあった金子らの旧領を宛行う。
- 415 〔景勝公御書〕 卷八 上杉景勝判物写……………627
- 二月、上杉景勝、栗林治部少輔に朱印狀を与え、船二艘分の諸役を免許する。
- 416 〔東京大学史料編纂所所藏栗林文書〕 上杉景勝朱印狀……………627
- 六月三日、上杉景勝、栗林治部少輔に荒砥在城を命じ、一村の料所などを宛行う。ついで四日、景勝は治部少輔に肥前守の受領名を与える。
- 417 〔東京大学史料編纂所所藏栗林文書〕 上杉景勝判物……………627
- 418 〔東京大学史料編纂所所藏栗林文書〕 上杉景勝判物……………627
- 九月十七日、上杉景勝、泉沢久秀に舞子を含む料所四ヶ所を預け置く。



|     |                                                                           |     |
|-----|---------------------------------------------------------------------------|-----|
| 419 | 〔歴代古案〕 卷九 上杉景勝朱印状写……………                                                   | 628 |
|     | 十一月晦日、上杉景勝、直海新右兵衛の三年の籠城を慰勞し、上田の内などで知行を宛行う。                                |     |
| 420 | 〔景勝公御書〕 卷二 上杉景勝朱印状写……………                                                  | 628 |
|     | 十一月、上杉景勝、浅間藤九郎・三本又次郎らに堪忍分として上田の内で行を宛行う。                                   |     |
| 421 | 〔渡辺謙一郎氏所蔵文書〕 上杉景勝朱印状……………                                                 | 628 |
| 422 | 〔景勝公御書〕 卷十 上杉景勝朱印状写……………                                                  | 629 |
| 423 | 〔景勝公御書〕 卷十四 上杉景勝朱印状写……………                                                 | 629 |
| 424 | 〔寛上公御書集〕 卷五 上杉景勝朱印状写……………                                                 | 629 |
|     | 【天正十年】（一五八二）                                                              |     |
|     | 二月二十八日、栗林肥前守、直江兼統に書状を送る。節句の祝儀を進上し、関東の情勢を伝え、これらを上杉景勝に披露してくれるよう依頼する。        |     |
| 425 | 〔上杉家文書〕 栗林肥前守書状……………                                                      | 629 |
|     | 三月、武田家の矢野綱直、荒砥城の栗林に再三書状を送り、上杉景勝への披露を依頼する。上野国内の現状を伝え人質を提出し、早急なる援軍を求めるが果たさ  |     |
|     | れず、二十七日、綱直は景勝の対応次第で、須川に屋敷を立てるか、地下人を悉く引き連れ上田へ赴くと訴える。                       |     |
| 426 | 〔寛上公御書集〕 卷六 矢野綱直書状……………                                                   | 630 |
| 427 | 〔上杉家文書〕 矢野綱直書状……………                                                       | 630 |
| 428 | 〔上杉家文書〕 矢野綱直書状……………                                                       | 631 |
|     | 閏十二月二十一日、上杉景勝、普光寺に寺領二十貫文を寄進する。                                            |     |
| 429 | 〔普光寺文書〕 上杉景勝朱印状……………                                                      | 632 |
|     | 【天正十一年】（一五八三）                                                             |     |
|     | 二月三日、上杉景勝、大井田新九郎に知行を宛行う。                                                  |     |
| 430 | 〔大井田文書〕 上杉景勝朱印状……………                                                      | 632 |
|     | 三月二十八日、北条芳林、直江兼統に条書を送る。そのなかで上杉景勝の越山があるかないかは得失にあたるとし、上田に着陣する際には迎えに参上すると記す。 |     |
| 431 | 〔歴代古案〕 卷十三 北条芳林条書写……………                                                   | 632 |
|     | 五月二十八日、上杉景勝、新発田地端表で多くの捕虜を得た古藤新右衛門尉を賞する。                                   |     |

- 432 〔景勝公御書〕 卷十六 上杉景勝書状写…………… 633
- 【天正十二年】（一五八四）
- 二月十一日、上杉景勝、栗林肥前守に荒砥在城を命じ、知行を宛行う。同日、荒砥関所を料所として預け置き、また養父次郎左衛門尉と同様に郡司職を安堵する。
- 433 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕 上杉景勝判物…………… 633
- 434 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕 上杉景勝朱印状…………… 633
- 435 〔東京大学史料編纂所所蔵栗林文書〕 上杉景勝朱印状…………… 634
- 436 〔個人蔵文書〕 上杉景勝書状写…………… 634
- 437 〔井上昇三氏所蔵文書〕 多賀大僧正某書状写…………… 634
- 438 〔志賀楨太郎氏所蔵文書〕 上杉景勝書状…………… 635
- 十月十八日、泉沢久秀、林源五郎に多功の旧領のうち広地と長松村を与える。
- 439 〔景勝公御書〕 卷十七 泉沢久秀判物写…………… 635
- 【天正十四年】（一五八六）
- 二月十日、上杉景勝、青木新右衛門・豊野藤左衛門に上田の内などで知行を宛行う。
- 440 〔景勝公御年譜〕 卷十一 上杉景勝朱印状写…………… 635
- 441 〔歴代古案〕 卷十一 上杉景勝朱印状写…………… 636
- 二月十七日、泉沢久秀、下平蔵人佐に藤原のうち三ヶ所を青木主計に渡すよう命じ、それ以外の知行を認める。
- 442 〔伊佐早謙採集文書〕 七卷 上杉景勝朱印状写…………… 636
- 九月十一日、直江兼統、雲洞庵に禁制を与える。
- 443 〔雲洞庵文書〕 直江兼統禁制写…………… 637
- 444 〔雲洞庵文書〕 富新三長房書状…………… 637
- 九月十八日、上杉景勝、新発田攻めからの帰途、矢沢綱頼に書状を遣わし、上野の情勢を心配し、従軍した綱頼の子三十郎とともに加勢の上田衆も早急に帰すと記す。
- 445 〔真武内伝追加〕 全 上杉景勝朱印状写…………… 637
- 十月二十三日、上野国箕輪城主藤田氏邦、会津蘆名氏に書状を遣わし、明春上野国沼田城を落とす、上田表

まで進軍することを伝える。

446 〔秋山氏所蔵文書〕 藤田氏邦書状……………638

【天正十七年】（一五八九）

七月十日、上杉景勝、平田尾張守に上田衆相備を申し付け、知行を宛行う。

447 〔寛上公御書集〕 卷十四 上杉景勝朱印状写……………639

【天正十八年】（一五九〇）

三月一日、上杉景勝、掟書を発給し、万部執行の諸法度は法音寺・宝幢寺・大乘寺の指図次第であるとする。

448 〔法音寺文書〕 上杉景勝制札写……………639

九月二十一日、上杉景勝、武蔵国八王子城に三十日在番する人数・軍役を定める。このなかに多くの上田衆の人名がみえる。

449 〔寛上公御書集〕 卷十五 上杉景勝軍役帳写……………639

450 〔諸士江御条目軍役書〕 城数寛書写……………641

451 〔景勝公諸士来書〕 卷廿 押前日記写……………642

【天正十九年】（一五九一）

九月十九日、樋口元兼、御館の乱時に壊された神立三

社大明神を再興する。

452 〔剣持清見氏所蔵文書〕 神立三社棟札写……………644

十一月十一日、直江兼統、登坂甚兵衛・佐藤甚助に留守中に何か起きたら上田衆らに助勢を催促するよう伝える。

453 〔歴代古案〕 卷十一 直江兼統書状写……………644

454 〔歴代古案〕 卷十一 直江兼統書状写……………645

【天正二十年・文禄元年】（一五九二）

四月七日、上杉景勝、齋木四郎兵衛尉に思河の見出分と屋敷前の給分を宛行う。

455 〔寛上公御書集〕 卷十七 上杉景勝宛行状写……………645

五月二十八日、泉沢久秀、朝鮮在陣中の浅間内匠助に欠け落ちした西方新四郎らの上田内の知行を宛行う。

456 〔景勝公諸士来書〕 卷十九 泉沢久秀黒印状写……………645

六月十九日、上杉景勝、雲洞庵の老師遷化につき書状を送り、遺言として天目を贈られたことへの礼を述べる。

457 〔雲洞庵文書〕 上杉景勝書状……………646

|                                                                                                      |     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 【文禄二年】(一五九三)                                                                                         |     |
| 九月九日、上杉景勝、登坂甚兵衛に書状を遣わし、朝鮮から渡海し昨日名護屋に到着したことを伝える。                                                      |     |
| 458 〔岸本勝次氏所蔵文書〕上杉景勝書状……………                                                                           | 646 |
| 【文禄三年】(一五九四)                                                                                         |     |
| 二月二十一日、泉沢久秀、上村喜左衛門尉・三本与三左衛門に加恩として上田の内に知行を宛行う。                                                        |     |
| 459 〔景勝公御書〕卷十八 泉沢久秀黒印状写……………                                                                         | 646 |
| 460 〔歴代古案〕卷十一 泉沢久秀黒印状写……………                                                                          | 647 |
| 【文禄五年・慶長元年】(一五九六)                                                                                    |     |
| 五月二十六日、泉沢久秀、江口・堀之内の百姓たちの佗言の件で斎藤兵部・森山次郎右衛門尉に書状を遣わす。そのなかに舟の往来が六日町から堀之内、堀之内から小千谷、小千谷から蔵王堂の区間であったことがみえる。 |     |
| 461 〔宮文書〕泉沢久秀書状……………                                                                                 | 647 |
| 十月晦日、丸田俊次、宮源左衛門尉に黒印状を遣わし、小成物の調達について案内を任せ置く。そのなかに浦                                                    |     |
| 沢から小千谷まで運送することが記される。                                                                                 |     |
| 462 〔宮文書〕丸田俊次黒印状……………                                                                                | 648 |
| 第二章 帳簿類……………                                                                                         | 649 |
| 第一節 文禄三年定納員数目録……………                                                                                  | 650 |
| 第二節 市江・一村尾検地帳……………                                                                                   | 682 |
| 第三節 越後過去名簿……………                                                                                      | 724 |
| 第四節 越後国供養帳……………                                                                                      | 732 |
| 第三章 石塔・経筒……………                                                                                       | 739 |
| 第四章 城郭……………                                                                                          | 753 |
| 城郭の凡例……………                                                                                           | 753 |
| 城郭分布図……………                                                                                           | 756 |
| 1 坂戸城……………                                                                                           | 764 |
| 2 寺ヶ鼻城……………                                                                                          | 772 |
| 3 館……………                                                                                             | 773 |
| 4 大月城……………                                                                                           | 774 |
| 坂戸字坂戸山……………                                                                                          | 764 |
| 東泉田字姥沢他……………                                                                                         | 772 |
| 六日町字館……………                                                                                           | 773 |
| 大月字細越他……………                                                                                          | 774 |



|    |            |             |     |             |         |            |     |
|----|------------|-------------|-----|-------------|---------|------------|-----|
| 22 | 浦佐城        | 浦佐字堂ノ入      | 804 | 23          | 上山城     | 浦佐字上山      | 806 |
| 21 | 直路城        | 清水字持口       | 802 | 24          | 下山城     | 浦佐字下山      | 807 |
| 20 | 関山城        | 石打字中沢       | 801 | 25          | 後山城     | 市野江乙字峠沢    | 808 |
| 19 | 宮野下城       | 宮野下字小仁田     | 800 | 26          | 櫛山城     | 城山新田字北平・仁田 | 809 |
| 18 | 君沢城        | 君沢字兎平       | 799 | 27          | 一村尾の小屋場 | 一村尾字沢山     | 810 |
| 17 | 仙石城        | 仙石字城山       | 798 | 28          | 苗場山城    | 水尾字不動入     | 811 |
| 16 | 樺沢城        | 樺野沢字城山・城越   | 794 | 29          | 御館城     | 大崎字沢口      | 813 |
| 15 | 大屋敷        | 畔地字山際       | 793 | 30          | 桐沢城     | 桐沢字堂ノ入     | 815 |
| 14 | コヤバの段・トオシロ | 寺尾字大入       | 791 | 31          | 大崎城     | 大崎字寺見堂     | 817 |
| 13 | 黒沢台屋敷跡     | 寺尾字黒沢       | 790 | 32          | 雷土城     | 雷土字京平      | 818 |
| 12 | 細越古城       | 下出浦字細越      | 788 | 33          | 青島城     | 魚沼市青島字福山   | 822 |
| 11 | 野際城        | 田崎字平山       | 786 | 34          | 湯谷城     | 湯谷字道見山     | 823 |
| 10 | 暮坪城        | 長森字山サキ      | 785 | 35          | 藪神城     | 一村尾字庚      | 826 |
| 9  | 六万騎城       | 麓字城入        | 781 | 36          | 桑原城     | 魚沼市虫野字東浦   | 827 |
| 8  | 柳沢の小屋場     | 五日町字川原沢     | 780 | 中世編         | 出典一覧    |            | 829 |
| 7  | 君帰城        | 君帰字北沢他      | 778 | 執筆者一覧       |         |            | 838 |
| 6  | 小栗山城       | 小栗山字谷地田・仙ノ入 | 777 | 郷土史編さん関係者名簿 |         |            | 841 |
| 5  | 新内入城       | 大月字新内入      | 776 |             |         |            |     |

目 次

|             |     |
|-------------|-----|
| 資料所蔵者・協力者一覧 | 846 |
| あとがき        |     |